

ほう素等3項目に係る水質の現状
 ほう素等3項目の環境基準超過状況（平成17～21年度） 環境基準値を超過する検体があった地点の一覧を示す。

1 ほう素及びその化合物（環境基準：1mg/L） 近年は人為的な要因による超過はない。

水域	河川名	地点名	平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度		
			m/n	最大	平均	m/n	最大	平均	m/n	最大	平均	m/n	最大	平均	m/n	最大	平均
淀川	淀川下流(2)	伝法大橋	/	/	/	2/2	2.4	2.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
神崎川	神崎川	千船橋	2/4	1.5	1.2	2/4	2.4	1.6	3/4	2.3	1.4	/	/	/	1/2	1.8	1.2
		左門殿川	1/6	1.3	0.9	1/6	2.6	0.9	2/6	2.3	1.4	4/6	1.2	1.1	1/2	1.5	1.3
大阪市	正蓮寺川	北港大橋下流700m	2/2	2.3	2.1	2/2	2.9	2.7	2/2	3.2	3.0	2/2	3.1	2.7	2/2	2.4	2.1
		六軒家川	1/2	1.5	1.2	2/2	1.5	1.5	/	/	/	2/2	1.9	1.8	1/2	1.4	1.2
		安治川	2/2	2.2	2.1	2/2	2.8	2.5	2/2	3.3	2.4	2/2	2.0	2.0	2/2	2.2	1.9
		尻無川	1/2	2.0	1.1	2/2	1.4	1.3	/	/	/	1/2	1.3	1.2	/	/	/
		木津川	2/2	1.8	1.8	2/2	1.8	1.6	2/2	1.8	1.5	2/2	1.8	1.5	1/2	1.1	1.0
		木津川運河	2/2	2.7	2.6	2/2	2.4	2.4	2/2	2.9	2.6	2/2	2.3	2.2	2/2	2.2	1.9
		住吉川	1/2	1.5	1.1	2/2	1.7	1.4	2/2	1.9	1.6	2/2	2.1	1.6	2/2	2.1	1.9
		天見川	2/6	1.3	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
泉州	内川放水路	古川橋	/	/	/	/	/	/	2/2	5.0	3.7	1/2	1.2	1.1	/	/	/
		内川	2/2	3.8	3.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		石津川	1/4	1.3	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1/4	1.5	0.81
		王子川	2/2	1.7	1.4	/	/	/	1/2	1.8	1.4	/	/	/	/	/	/
		東横尾川	/	/	/	1/2	1.5	1.0	/	/	/	1/2	1.4	1.0	/	/	/
		金熊寺川	/	/	/	/	/	/	/	/	/	3/4	3.3	1.8	1/2	1.7	0.9

2 ふっ素及びその化合物（環境基準：0.8mg/L） 一部で人為的な要因による環境基準超過がみられたが、事業場に対する指導で改善。

水域	河川名	地点名	平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度		
			m/n	最大	平均	m/n	最大	平均	m/n	最大	平均	m/n	最大	平均	m/n	最大	平均
淀川	淀川下流(2)	伝法大橋	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
		女瀬川	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
神崎川	勝尾寺川	中河原橋	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
		第二寝屋川合流直前	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
寝屋川	長瀬川	東竹淵橋	2/6	1.8	0.69	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
		大正川	3/6	5.7	1.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
		平野川合流直前	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
大阪市	正蓮寺川	北港大橋下流700m	/	/	/	1/2	1.1	0.92	/	/	/	/	/	/	/	/	/
		安治川	/	/	/	1/2	0.84	0.81	/	/	/	/	/	/	/	/	/
		木津川運河	1/2	0.83	0.79	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
泉州	内川放水路	古川橋	/	/	/	/	/	/	1/2	1.1	0.92	/	/	/	/	/	/
		内川	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
		石津川	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
		近木川	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
		大里川	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

3 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素（環境基準：1.0mg/L） 環境基準値の超過がわずかにみられたが、環境基準は全地点で達成。

水域	河川名	地点名	平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度		
			m/n	最大	平均	m/n	最大	平均	m/n	最大	平均	m/n	最大	平均	m/n	最大	平均
神崎川	正雀川	安威川合流直前	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
		寝屋川	1/4	11	6.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
泉州	内川放水路	古川橋	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		石津川	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

海水の濃度（平成20～21年度常時監視結果より）
 ほう素： 2.8～5.0 mg/L 平均 4.2 mg/L
 ふっ素： 0.72～1.4 mg/L 平均 1.1 mg/L

注）単位：mg/L。n：総検体数、m：環境基準値を超過した検体数。
 網掛けは海水等の自然由来ではなく、原因不明又は人為的な要因によるものと考えられるもの。
 斜体は、環境基準を超過した検体はあったが、年間平均値は基準内のもの。